

県民の健康を支える公衆衛生活動に共に取り組む理解と行動を！

平成20年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 平成21年 1 月15日（木） 午後 3 時10分～午後 4 時30分
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 18人
 岡本健対協会長、武田委員長
 野島・宮崎・渡辺・神鳥・清水・大津・國頭・藤井・村山・
 中安・吉田・丸瀬・能勢各委員
 県健康政策課：澤田副主幹
 健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長

挨拶（要旨）

〈岡本会長〉

公衆衛生活動対策専門委員会の事業は活動範囲が広く、従来設置されていた脳卒中登録対策、アレルギー対策専門委員会の事業内容もこの委員会に取り込まれた。昨年度も話題となったが、「鳥取県医師会公開健康講座」の開催曜日、時間帯を検討して頂き、住民が受講しやすいことを優先して計画を立てて頂きたい。

〈武田委員長〉

公衆衛生活動は鳥取県医師会にとって、大切な任務だと思う。住民と医療関係者がお互いに理解し合って、そして共に作っていく医療であったり、保健であったりしないといけないと思う。11月に「地域医療を考える県民フォーラム」を開催したが、住民の方々と一緒になって活動を行っていかなければならないと思うので、ご活発なご意見を頂きたい。

報 告

1. 平成19年度事業報告及び平成20年度事業中間報告

（1）健康教育事業：武田委員長より報告

①健康フォーラム

○平成19年11月10日（土）県民ふれあい会館・ホールで開催。聴講者361名

鳥取県医師会創立60周年・鳥取県医師国民健康保険組合創立50周年記念事業「健康フォーラム2007」

共催 鳥取県医師会・鳥取県医師国民健康保険組合・新日本海新聞社

・演題：『幸せの鐘がきこえる』

・講師：西川 ヘレン氏（西川きよし夫人）

○平成20年 9 月27日（土）ハワイアロハホールで開催。聴講者318名

・演題：『肥満、メタボリック症候群の予防・改善に向けて』

・講師：京都大学大学院 人間・環境学研究所応用生理学研究室 教授 森谷敏夫先生

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成19年度は23回、平成20年度は 1 月現在で22回掲載した。

公開健康講座の講演内容について掲載している。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を平成19年度は28回、平成20年度は1月現在で19回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それに対する回答を掲載している。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座実施。会場は鳥取県健康会館のほか、倉吉市、米子市内で1回ずつ開催。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年12回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施。

平成19年4月より、鳥取県立図書館が講演会場へ出張し、講演内容に関連した図書の貸し出し業務を行っている。

(2) 地域保健対策

①平成16年度より鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学 清水英治教授を中心に「新規抗菌素材による呼吸器ウイルス感染予防法の検討」が行われたが、平成19年度をもって終了した。

平成17年度は予備調査、そして平成18年度は疫学調査と外来患者、老人保健施設入所者等を対象としたヒトメタニューモウイルスの流行事例調査、そして、平成19年度は『急性呼吸器感染症原因ウイルスの多施設における疫学調査』と『ドロマイトの臨床分離ヒトメタニューモウイルス株に対する抗ウイルス効果の検討』を行った。

②平成20年度からは東部医師会の石谷先生を中心に「学校検尿における2型糖尿病発生頻度およびフォローアップシステムの研究」を実施することとなった。

わが国では、1974年から児童生徒の蛋白尿、血尿検査、1992年より尿糖検査による腎臓病および2型糖尿病の早期発見、早期治療、合併症予防が

開始された。2型糖尿病は、80%に肥満を合併し、発症率も20年間に小学生で10倍、中学生で2倍に増加している。学校検尿で発見された症例を適切にフォローすることで、2型糖尿病の発生頻度を明らかにし、糖尿病を指標にメタボリック症候群や肥満による合併症の予防を行なうシステムを確立する。

(3) 生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（大津委員）〉

1. 鳥取市市民健康ひろばにて、健康相談を行った。

2. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成20年3月7日に開催し、講師は鳥取大学教育地域学部油野利博先生と徳島大学医学部栄養学科 山上文子先生で、参加者は46名であった。平成20年度は平成21年3月5日に開催する予定である。

3. 各会員による健康教育講演は、平成19年度は108回、平成20年度は1月現在で31回行った。

〈中部医師会〉

1. 「住民健康フォーラム」を平成20年3月2日、禁煙をテーマに開催し、参加者は40名であった。また、平成20年度は11月30日にメタボリックシンドロームをテーマに開催し、参加者は54名であった。

2. 各会員による健康教育講演は、平成19年度は76回行った。

〈西部医師会（國頭委員）〉

1. 各会員による健康教育講演を平成19年度は米子市で6回、境港市で20回行った。平成20年度は1月現在で境港市は18回行った。

2. 健康講座を米子市内の公民館で平成19年度は22回、平成20年度は1月現在で16回行った。また、米子市生活習慣病予防教室を平成20年度は9回行った。

地区医師会を通して講演依頼があったもの、直接各自に依頼される場合もあるので、東部医師会においては会員に住民の健康教育講演等を行ったかどうかというアンケートを行っている。中部医師会、西部医師会も同様なアンケートを行うこととなった。

医師会員が地域、学校において住民のために公衆衛生活動された実績を地区医師会で取りまとめておくことが重要であるので、なるべく漏れのないように収集することが大事である。ただし、産業医活動、医師を対象とした講演会は外す。活動実績申請書の様式案を作成し、地区医師会に示すこととなった。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。平成19年度までは健康医療相談の第3木曜日は小児科と整形外科で隔月に行っていたが、小児科の相談件数が少ないことから、小児科の相談日は廃止となった。よって、第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施することとなった。

平成19年度は48件、平成20年度は1月現在で59件の相談があった。

協 議

1. 平成21年度事業計画（案）：武田委員長より 説明

（1）健康教育事業

①健康フォーラムを西部地区で開催予定。

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回掲載続行予定。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。

手持ちの原稿が少ないので、委員に原稿依頼の要請があった。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

開催曜日、時間帯、講演テーマについて、公民館やPTAに協力をお願いして住民に対しての意向アンケート調査を行い、その結果を踏まえて検討していくこととなった。

地区医師会で開催される生活習慣病セミナーが10月以降開催となっているので、米子市、倉吉市の出前講座については夏までに開催することとなった。

（2）地域保健対策

「学校検尿における2型糖尿病発生頻度およびフォローアップシステムの研究」を継続実施。

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。